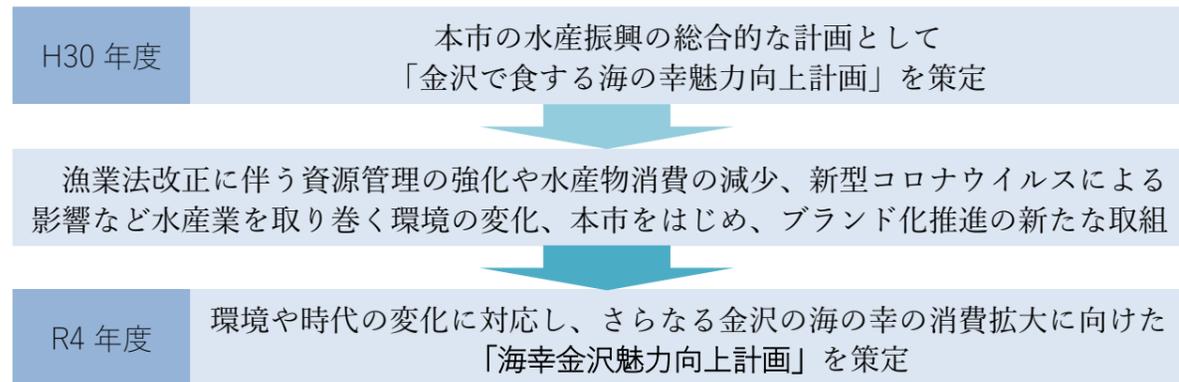


海幸金沢魅力向上計画 骨子案

1) 計画改定の背景



2) 計画の目的

本計画の目的を、海幸金沢の魅力向上による、**「地域経済の活性化」、「食文化の継承と発展」、「都市イメージの向上」**と設定します。

⇒水産業に関連する仕事に携わる人々がいきいきと働き、将来にわたっておいしい海の幸が食べられる「まち」であり続けることで、本市の食の魅力を磨き上げるとともに、市内内外に向け、その魅力を発信することで都市のブランド力を高めます。

3) 計画の位置づけ

本市の目指すべき都市像とそれに向けて講じるべき施策をとりまとめた「世界の交流拠点都市金沢 重点戦略計画」(平成26年2月策定、令和4年5月改定)において、「「海幸金沢」の魅力発信」は重点的に取り組む施策として定められています。

このことを受け、本計画を海幸金沢の魅力向上に向けた水産振興マスタープランとして位置付け、本市水産業の更なる発展に向けた総合的かつ計画的な取組の指針とします。

4) 計画期間

本計画の期間は、水産業を取り巻く環境や社会経済情勢の変化に鑑み、**令和5年度から令和7年度の3年間**とします。

5) 現状と課題のまとめ(改定の方針)

金沢市の水産業

- 資源管理に取り組んだことで、漁獲量は一定水準に保たれており、今後も継続実施が必要
- かに類、えび類、にぎす類(めぎす類)の漁獲量が多い
- 高齢化率は高い一方、10代~30代の就労者は増加傾向にあり、就業者の維持に向けた継続的な担い手確保の取組が必要

金沢市の水産物

- 市場の平均単価が上昇傾向にあり、コロナウイルスの影響を受けつつも、活力は回復傾向
- 市民の消費喚起のためには、調理や片付けのハードルを下げる工夫が求められる
- 金沢の水産物のイメージについて、市民は「香箱ガニ」、観光客は「ずわいがに」がトップであり、市民に定着している「香箱ガニ」を活かすべき魅力として、市民だけでなく観光客にも訴求していくことが求められる

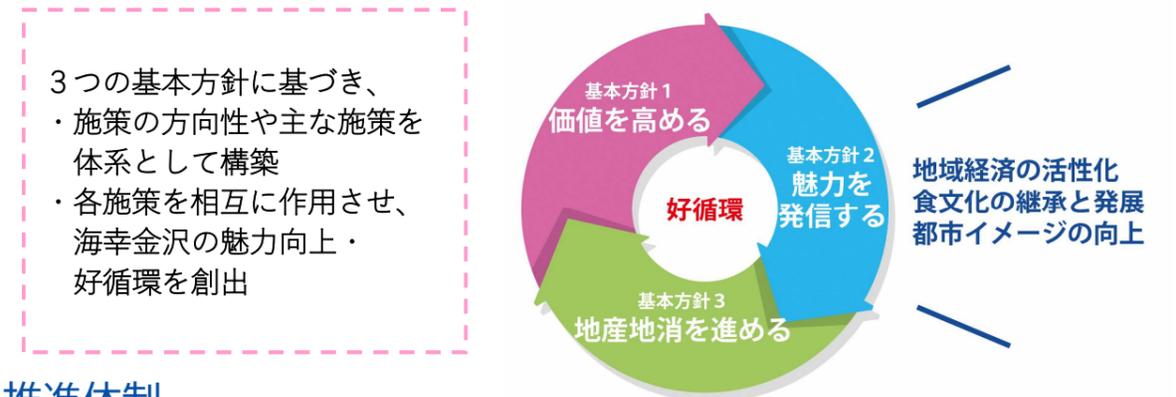
水産業を取り巻く社会状況の変化

- 関係法令の改定により資源管理の手法が変更
- SDGs(目標14:海の豊かさを守ろう)の観点からも、地産地消の推進や海洋資源の持続可能な利用が求められている
- ポストコロナを見据え、流通・消費動向に注視しながら、新しい生活様式や社会経済活動の変化への対応が求められている

主な改定方針

- SDGs等の観点を踏まえた持続可能な水産業の実現のため、水産資源の保護に引き続き取り組むとともに、担い手確保に向けた漁業の魅力向上を推進
- ポスト・コロナの生活・社会活動の変化を見据え、「魅力発信」の連携体制(生産・流通・飲食)及び発信手法をブラッシュアップ
- 市民の魚食の推進と、SDGsの観点を踏まえて、食育及び地産地消の取組を強化・推進
- 「海幸金沢」ブランドをさらに推進し、観光施策と連携することで誘客促進に寄与

6) 目指す姿



7) 推進体制

本計画は、生産、流通、飲食などの金沢の海の幸に携わる事業者が、お互いの顔が見える関係を築きながらそれぞれの役割を果たし、これらに行政や消費者を含めた全体が連携することにより計画を推進します。

計画の目的		施策の方向性		主な施策		役割			
海幸金沢の魅力向上による						生産	流通	飲食	行政
基本方針	方針1 価値を高める	1) 豊富な品揃えや品質の維持・向上	①水揚げ時の選別・処理方法の改善 ②鮮度を維持・向上させる物流体制の構築 ③鮮度の高い底びきや朝とれの地魚の積極的販売・活用	○	○				
		2) 付加価値や商品イメージの向上	①生産者による商品の差別化 ②海幸金沢ブランドの推進 ③飲食店等の要望を川上・川中が把握できる仕組みづくり ④川上から川下までの工夫（ストーリー）を伝える販売の推進 ⑤顔の見える販売の促進	○	○	○	○	○	○
		3) 新たな調理方法や加工品の開発	①魅力ある加工品の開発 ②新たなメニュー開発の推進	○	○				○
		4) 担い手確保に向けた漁業の魅力向上	①水産業の仕事の魅力を発信 ②効率的な経営への転換やスマート漁業の推進 ③資源管理による付加価値の向上	○	○				○
	方針2 魅力を発信する	1) 生産・流通・飲食の連携を通じたPRの推進	①金沢市水産物ブランド化推進協議会を中心とした業界関係者間の連携強化と情報共有 ②販売店などによる消費者へのPR ③飲食店等と連携したフェアの開催	○	○	○	○	○	○
		2) 各種メディアを活用した魅力発信と金沢の海の幸のファンづくり	①川上から川下までが連携したPRの実施 ②映像、SNS、フリーペーパー等を活用した情報発信 ③情報の受け手に応じたPRの実施 ④マスコットキャラクターを活用したPR ⑤海の幸に親しむ機会の拡充	○	○	○	○	○	○
		3) 金沢の海の幸の魅力を活かした誘客促進	①観光と連携したPRの推進	○	○	○	○		
		4) 新たな販路の開拓	①ふるさと納税の返礼品への活用 ②各種展示商談会、フェアへの出展、アンテナショップやインターネットを利用した販売 ③大都市圏への販路拡大や海外輸出の推進	○	○				○
	方針3 地産地消を進める	1) 年齢に応じた食育推進	①学校給食での地魚の利用拡大や郷土料理の提供 ②各年代に応じた出前講座の実施と魚食のPR	○	○				○
		2) 家庭での魚食普及	①魚食の健康増進作用のPR推進 ②調理しやすい商品（鮮魚・加工品）や惣菜の販売促進 ③家庭での魚食を推進するレシピ・加工品の開発	○	○				○
		3) 家庭や料理店での調理技術の継承	①多様な実施主体による料理教室等を通じた食育推進 ②料理人による郷土料理や調理技術の継承	○	○				○